

事務事業名	社会福祉総務諸事業			事業コード	03010100201		
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	高澤 英世		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	地域福祉の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	事業に必要な事務用品等を購入し社会福祉事業を遂行します。						
	当該事業は、社会福祉課予算の一般管理費を計上したもので、職員の普通旅費、需用費を計上したものです。県内出張旅費や事務用品購入の際に執行します。						
事業の目的・事業の概要等							

すぐに行ける改善提案	事務用品の経費節減に努めます。普通旅費の執行はなく、公用車での対応ができています。		
目標年度	平成24	年度	
取組状況	継続して、事務用品の経費節減するための工夫に努めます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	継続して、事務用品の経費節減するための工夫に努めます。		
目標年度	平成24	年度	
取組状況	継続して、事務用品の経費節減するための工夫に努めます。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	5千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	5千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.02人	136千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.02人	136千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		141千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	3千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		138千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		141千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由				
すぐに行ける改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	予算・決算の推移	千円	目標値	7	達成率	7	達成率	8	達成率		達成率
			実績値	5	71.43	5	71.43	5	62.5		
活動	消耗品費 予算・決算の推移	千円	目標値	5	達成率	5	達成率	5	達成率		達成率
			実績値	5	100	5	100	5	100		
活動	普通旅費 予算・決算の推移	千円	目標値	2	達成率	2	達成率	3	達成率		達成率
			実績値	0	0	0	0	0	0		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	地域支え合い体制づくり事業			事業コード	03010102001
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	高澤 英世
事業対象	高齢者・障害者				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	高齢者福祉の充実		事業種別	補助金事業（団体）
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	高齢者・障害者が互いに交流しあう拠点づくり
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市地域支え合い体制づくり事業実施要綱、坂井市地域支え合い体制づくり事業補助金交付要綱			
関連計画	無				
事業の目的・事業の概要等	地域のつながりの希薄化による孤立化をなくすため、高齢者、障害者、健常者が互いに交流し合う拠点づくり				
	地域住民の交流の場づくり 講座開設、行事開催、広報、パンフレット作成事業				

【事業の概要】

すぐに行える改善提案	平成23年10月1日から平成24年3月31日までの補助事業の為、今後も改善を行いながら教室等の周知を行い利用者増に努める。
目標年度 平成24 年度	
取組状況	当該事業としては完了となるが、継続して事業を進める。平成24年度以降は、平成24年度以降は、社会福祉課地域活動支援センター事業に変更
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,000 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	1,000 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.05 人	340 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.05 人	340 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,340 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	1,000 千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		340 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		1,340 千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
すぐに行える改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	講座回数	目標値	33	達成率		達成率
		実績値	33	100		
活動	講座回数	目標値	33	達成率		達成率
		実績値	33	100		
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率

【事業の成果】

事務事業名	丸岡総合福祉保健施設事業		事業コード	03010300301	
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	前田 英邦
事業対象	指定管理者、利用者、一般市民				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	地域福祉の充実		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	施設の管理および温泉棟の運営
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例				
関連計画	無				

【事業の概要】

総合的な地域福祉の拠点である丸岡総合福祉保健施設の安全で適正かつ効果的、効率的な管理を行う。

◆丸岡総合福祉保健施設管理運営事業 63,575千円  
 ○需用費（機械器具修繕料） 1,080千円  
 ○委託料（指定管理委託料） 60,000千円  
 委託先：イワシタ物産 株式会社  
 期間：H20.4.1~H25.3.31  
 ○工事請負費（電話設備改修工事費他） 2,350千円  
 ○その他（火災保険料、原材料費等） 145千円

【実績・計画】

H20	指定管理料	66,000千円	利用人数	275,204人	事業収入	196,456千円	事業支出	190,630千円	事業収支	5,826千円
H21	指定管理料	61,000千円	利用人数	297,491人	事業収入	196,045千円	事業支出	185,079千円	事業収支	10,966千円
H22	指定管理料	61,000千円	利用人数	286,604人	事業収入	194,658千円	事業支出	184,679千円	事業収支	9,979千円
H23（計画）	指定管理料	61,000千円	利用人数	287,000人	事業収入	199,205千円	事業支出	192,843千円	事業収支	6,362千円

◆省エネ対策事業 1,447千円  
 ○需用費（設備機器修繕料） 1,300千円  
 ○使用料及び賃借料（デマンド監視システム使用料） 147千円

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉施設費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	61,000	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	91	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	4,591	千円	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	65,682	千円	千円	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	0.45	人	3,058	千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.45	人	3,058	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		68,740	千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	119	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
			地方債	千円	千円	千円	千円					
その他			千円	千円	千円	千円						
一般財源		68,621	千円	千円	千円	千円						
財源合計		68,740	千円	千円	千円	千円	千円					

【事業の成果】	成果	顧客満足度（良い以上）	%	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	
				目標値	50.0	達成率	50.0	達成率	50.0	達成率	50.0
	活動	利用人数	人	目標値	287,000	達成率	282,000	達成率	277,000	達成率	273,000
				実績値	---	286,604	101.63	297,491	107.4	275,204	100.8
	活動	利用料収入	円	目標値	2,043,000	達成率	1,090,000	達成率	1,260,000	達成率	1,740,000
				実績値	---	1,497,880	99.46	1,924,400	106.33	1,947,380	104.06
							目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
							実績値				
							目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
							実績値				
							目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
							実績値				

すぐに行える改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	金額見直しを実施し行政資源投入の減少に努める。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【担当者評価】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
すぐに行える改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【所属長評価】	
---------	--

事務事業名	老人福祉諸事業			事業コード	03010400101		
所管部署	福祉課（丸岡支所）		電話	68-0805		記入者名	高澤 英世
事業対象	丸岡地区に居住する60歳以上の高齢者						
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	高齢者福祉の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	会員がお互いに仲良く、薬草研究及び栽培に励み、自らの健康増進と生きがいを高める。						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬草の栽培、収穫</li> <li>・野菜の収穫</li> <li>・会員の健康増進活動</li> <li>・会員相互の親睦活動</li> <li>・その他薬草園の目的を達成するための事業</li> </ul>						
事業の目的・事業の概要等	民営保育園開設予定により、活動中止 民間保育園の建設予定地として、平成23年度は土地4筆の借上継続 平成24年度薬草園事業としては廃止、子育て支援課事業にて、2筆 借地継続、2筆買取予定						

すぐにできる改善提案	ハケ保育園の民営化計画が実施されることにより事業を廃止します。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	C
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	C
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C

予算	款	民生費		項	社会福祉費				目	老人福祉費					
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		報酬		千円	千円	千円	千円
		委託費		千円	千円	千円	千円	千円	千円	委託費		千円	千円	千円	千円
		需用費		千円	千円	千円	千円	千円	千円	需用費		千円	千円	千円	千円
		役務費		千円	千円	千円	千円	千円	千円	役務費		千円	千円	千円	千円
		その他		1,376千円	千円	千円	千円	千円	千円	その他		1,376千円	千円	千円	千円
		事業費合計		1,376千円	千円	千円	千円	千円	千円	事業費合計		1,376千円	千円	千円	千円
	事業費	人件費	正職員		0.01人	68千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
			臨時職員		0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
			人件費合計		0.01人	68千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		総事業費		1,444千円	千円	千円	千円	千円	千円	総事業費		1,444千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金		千円	千円	千円	千円	千円	国県支出金		千円	千円	千円	
			使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	使用料・手数料		千円	千円	千円	
			分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	分担金・負担金		千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	地方債		千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	その他		千円	千円	千円				
一般財源		1,444千円	千円	千円	千円	千円	一般財源		1,444千円	千円	千円	千円			
財源合計		1,444千円	千円	千円	千円	千円	財源合計		1,444千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	完了しました。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成23年度をもって薬草園の事業としては完了しました。				
実施主体の方向性	完了しました。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成23年度をもって薬草園の事業としては完了しました。				
コスト投入の方向性	完了しました。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成23年度をもって薬草園の事業としては完了しました。				
人員投入の方向性	完了しました。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成23年度をもって薬草園の事業としては完了しました。				
すぐにできる改善提案	名称を変更し他の場所において、老人クラブ活動の一環として事業を引き継ぎます。				
目標年度	平成24年度				
中長期的に取り組むべき改善提案					
目標年度	--年度				

事業の成果	成果	予算額	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	
			目標値	千円	1452	達成率		達成率	達成率	達成率
	実績値	1376	94.77							
	活動	借地筆数	筆	目標値	4	達成率		達成率	達成率	達成率
				実績値	4	100	---	---	---	
		目標値		達成率		達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率		達成率	達成率	達成率		
		目標値		達成率		達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率		達成率	達成率	達成率		

事務事業名	敬老会事業			事業コード	03010401901		
所管部署	福祉課（丸岡支所）		電話	68-0805		記入者名	高野 晴美
事業対象	75歳以上の高齢者						
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	高齢者福祉の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託		委託内容	会場設営・式典司会・アトラクション等	
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	長年のご労苦に感謝し、敬愛の意を表すとともに、その長寿をお祝いするために開催します。						
	昭和11年12月31日以前に生まれ、丸岡町に住民登録のある方を招待して開催いたしました。						
事業の目的・事業の概要等	開催日 6月12日(日) 開催場所 丸岡体育館 内容 式典、敬老作文、郷土芸能、アトラクション						
	事業費 ○ 報償費 146千円 ○ 需用費 2,225千円 ○ 役務費 28千円 ○ 委託料 1,121千円 ○ 使用料及び賃借料 7千円						

すぐにできる改善提案	敬老会の一人当たりの経費は、送迎バスの賃借料を除くと、4地区ともほぼ同額になっている。今後、送迎バスの問題、地区（まち協）等への事業移管を含め、敬老会のあり方について検討し見直しを図っていきます。		
目標年度 平成24 年度			
取組状況	平成24年度から全地区バスの送迎を行いません。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	1,070	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	2,107	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	16	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	146	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	3,339	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.40	人	2,718	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.40	人	2,718	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	6,057	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		分担金・負担金	1,253	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		4,804	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	6,057	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。			目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	現在三国・丸岡・春江・坂井の4地区で合併前の方法で実施していますが、出席率が各地区とも低下してきており、平成23年度の市全体の出席率が28.5%と3割をきったことから実施方法について検討していく必要があります。					
実施主体の方向性	地域への移管を検討します。			目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	敬老会の趣旨から考えると、行政が実施すべき事業かどうか再考していきます。					
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。			目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	地域で実施するなど、実施方法によっては人件費の縮小が可能と思われます。					
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。			目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	地域で実施するなど、実施方法によっては人員の縮小が可能と思われます。					
すぐにできる改善提案	丸岡・春江の敬老会においても地域の要望を見ながらバスの送迎を実施します。					
目標年度 平成24 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案	地域住民が高齢者を敬うという意識を高めるためにも、子どもから高齢者まで一緒に集う敬老会を、公民館単位で地域が実施主体となって開催する方向で検討します。					
目標年度 平成25 年度						

【所属長評価】

成果	参加者	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
		目標値	1050	達成率	1050	達成率	1060	達成率
成果	参加率	目標値	27.4	達成率	28.6	達成率	29.4	達成率
		実績値	26.8	97.81	27.4	95.8	28.6	97.28
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						

【事業の成果】

事務事業名	介護予防拠点施設事業			事業コード	03010500101
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	前田 英邦
事業対象	高齢者				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	高齢者福祉の充実		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	施設維持管理事業
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例				
関連計画	無				

【事業の概要】

高齢者が要介護に陥ることなく、健康でいきいきとした生活を送れるように、予防事業を行う施設の維持管理を行う。

◆介護予防拠点施設の維持管理

丸岡地区（やすらぎの家、つどいの家、ふれ愛の家、いこいの家）

○消耗品費（施設管理用消耗品） 30千円  
○燃料費（灯油代等） 64千円  
○光熱水費（電気料、ガス料等） 657千円  
○修繕料（施設修繕料） 60千円  
○役務費（電話料、火災保険料等） 168千円  
○委託料（施設維持管理関連委託料（いこいの家指定管理者委託料 9,588千円） 10,276千円  
○使用料及び賃借料（CATV利用料等） 200千円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐに行える改善提案	利用者の増加
目標年度 平成24 年度	
取組状況	現在の利用者に、より良い環境を提供し利用者満足度を向上させ、ロコミなどで認知度を上げ、増加に努める。
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉施設費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	9,663	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	707	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	178	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	4,890	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	15,437	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.30 人	2,039 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.30 人	2,038 千円	人	千円	人	千円	人	千円
総事業費	17,475	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円				
	分担金・負担金	7,576	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円					
	その他	1,931	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	7,968	千円	千円	千円	千円				
財源合計	17,475	千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由				
すぐに行える改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【事業の成果】	指標名		単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度				
	成果	利用人数（いこいの家）	人	目標値	2777	達成率	2722	達成率	2808	達成率	2950	達成率
				実績値		---	3190	117.19	2648	94.3	2598	---
	活動	イベント参加人数（いこいの家）	人	目標値	230	達成率	230	達成率	230	達成率	230	達成率
				実績値		---	246	106.96	173	75.22	251	---
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値									

事務事業名	地域包括支援センター運営事業			事業コード	03010600201		
所管部署	福祉課（丸岡支所）		電話	68-0811		記入者名	千秋 久美子
事業対象	生活機能の低下が疑われる状態の要支援・要介護状態となるおそれの在る高齢者 介護保険における予防給付の対象となる要支援1.2の認定を受けた方						
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり			事業区分	法定受託事務	
	基本計画	高齢者福祉の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	有	介護保険法					
根拠例規	無						
関連計画	無						
【事業の概要】	介護予防事業、包括的支援事業（介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務及び包括的・継続的ケアマネジメント支援業務）及びその他の地域支援事業を行うことにより、被保険者が要介護状態又は要支援状態になることを予防するとともに、要介護状態となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。						
	満65歳から満80歳の全対象者（介護認定者を除く）に対して25項目の基本チェックリストを送付し、2次予防事業対象者に『介護予防・日常生活支援総合事業』として介護予防教室（運動機能向上・口腔機能向上・栄養改善）を、通年実施する。						
【事業の目的・事業の概要等】	○報償費（講師・委員謝礼、成年後見人報償）	352千円					
	○旅費（研修旅費等）	116千円					
	○需用費（介護予防消耗品、ガソリン代）	1,495千円					
	○役務費（郵便料、電話料、医師意見書手数料等）	2,588千円					
	○委託料（事業委託料、介護予防サービス計画委託料）	19,376千円					
	・2次予防事業委託料	10,611千円					
○委託料（事業委託料、介護予防サービス計画委託料）	8,765千円						
○委託料（事業委託料、介護予防サービス計画委託料）	8,765千円						
○運動機能向上事業							
○口腔機能向上事業							
○管理栄養士訪問指導事業							
○介護予防サービス計画作成委託料							
○使用料及び賃借料（送迎車輛借上料）	5,292千円						
○その他（扶助費・公課費）	119千円						

すぐできる改善提案	高齢者人口が増加する中、認知症・高齢者虐待・高齢者の精神障害者等困難な事例が増加傾向にあり、包括支援センターの役割が重要になってきています。現在、2箇所にある支援センターの業務運営について、今後、一本化した部署で行なうことを検討しながら、住民へのサービス低下とならないよう、また、身近で相談できる窓口を民間事業所と連携をとりながら、よりよい体制づくりを構築していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	2箇所の支援センター間の連絡をさらに強め、一体化したサービス提供を行えるよう相談対応しました。二次予防教室の参加者に対して、教室終了後も切れ目ない介護予防を継続できるよう、一次予防教室やサロン等への継続参加を調整しました		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	地域支援事業費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円		千円		千円		千円	
			委託費	5,407千円		千円		千円		千円	
			需用費	1,260千円		千円		千円		千円	
			役務費	2,287千円		千円		千円		千円	
			その他	1,527千円		千円		千円		千円	
	事業費合計	10,481千円		千円		千円		千円			
	人件費	正職員	3.00人	20,385千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	4.00人	9,172千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	7.00人	29,557千円	人	千円	人	千円	人	千円	
	総事業費	40,038千円		千円		千円		千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円		千円		千円		千円	
			使用料・手数料	千円		千円		千円		千円	
			分担金・負担金	10,481千円		千円		千円		千円	
			地方債	千円		千円		千円		千円	
その他			千円		千円		千円		千円		
一般財源		29,557千円		千円		千円		千円			
財源合計	40,038千円		千円		千円		千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由				
すぐできる改善提案				
目標年度 ー 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 ー 年度				

【事業の成果】	成果	年間相談件数（訪問、来所、電話）	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
					目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
	成果	二次予防事業教室参加者数	人	年度	目標値	2640	達成率		目標値	達成率	目標値	達成率
					実績値	2167	82.08					
	活動	要支援1.2と認定された人数	人	年度	目標値	560	達成率		目標値	達成率	目標値	達成率
					実績値	627	111.96					
	活動	二次予防事業教室実施回数	回	年度	目標値	144	達成率		目標値	達成率	目標値	達成率
					実績値	144	100					
	活動	地域ケア会議	回	年度	目標値	10	達成率		目標値	達成率	目標値	達成率
					実績値	10	100					
				年度	目標値		達成率		目標値	達成率	目標値	達成率
					実績値							

事務事業名	保育所管理運営事業		事業コード	03020400201	
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	早水 雅章
事業対象	公立保育所職員（保育士、調理師）、保育所入所児童・保護者				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	児童福祉の充実		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	児童福祉法、児童福祉施設最低基準、独立行政法人日本スポーツ振興センター法、消防法			
根拠例規	有	坂井市保育の実施に関する条例、坂井市保育所保育料徴収規則			
関連計画	有	坂井市福祉保健総合計画、次世代育成支援行動計画			

【事業の概要】

家庭で保育に欠ける児童を入所させて養護と教育とを一体とした保育を行うことによって、児童の人格形成と健全な心身の発達を図るとともに、施設の維持管理を図る。

◆保育所管理運営事業 丸岡  
丸岡地区（6ヶ所）の保育所管理運営費

○管理運営費（燃料費、光熱水費、給食材料費等） 76,034千円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐに行える改善提案	公立保育所の民営化は順次進めていくこととしているが、保育所入所者が増加してきていることや、気になる子の対応等のため保育士の数は削減できない状況にあります。また国の政策変換が執りだされ今後民間保育所への補助金の動向にも着目していく必要があります。さらに公立保育所施設に老朽化した物件もあることから、子どもへの安全と安心を配慮しながら耐震補強を進めていく必要があります。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	保育所への入所申込みには当初だけではなく、途中の申込にも対応しました。保育士の配置、保護者のニーズにも配慮して調整を行いました。
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	民生費	項	児童福祉費	目	保育園費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円				
			委託費	2,014	千円	千円	千円				
			需用費	8,758	千円	千円	千円				
			役務費	1,231	千円	千円	千円				
			その他	2,960	千円	千円	千円				
		事業費合計	14,963	千円	千円	千円					
		人件費	正職員	0.90 人	6,116 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.90 人	6,116 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	21,079 千円	千円	千円	千円						
	事業費	特定財源	国県支出金	140 千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	5,832 千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	7,953 千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源		7,154 千円	千円	千円	千円						
財源合計	21,079 千円	千円	千円	千円							

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	公立保育所がある以上、必要な事業です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	公立保育所の運営であるので、実施主体は市となります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	公立保育所を縮小することにより、この事業におけるコストを削減します。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	支所で行っている保育業務を本庁にて集約することにより事業を効率的に進めることができます。また、今後保育所を民間移行することにより、この事業における事務人員の削減ができます。			
すぐに行える改善提案	支所で行っている窓口以外の保育業務を本庁にて集約し、事務の効率化を促します。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	公立保育所を民間保育に移行します。			
目標年度 平成24 年度				

【事業の成果】	指標名		単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
	成果	公立保育所の施設数	箇所	目標値		達成率		達成率
				実績値	6	---	6	---
	成果	公立保育所に入所した児童数	人	目標値		達成率		達成率
				実績値	635	---	600	---
	活動	保育士数	人	目標値		達成率		達成率
				実績値	87	---		
				目標値		達成率		達成率
				実績値				
				目標値		達成率		達成率
				実績値				
				目標値		達成率		達成率
			実績値					

事務事業名	子育て支援センター事業		事業コード	03020401001	
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	早水 雅章
事業対象	保育所に入る前の乳幼児を持つ保護者、祖父母等在宅での子育て関係者				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	児童福祉の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	児童福祉法、次世代育成支援対策支援法			
根拠例規	有	子育て支援交付金交付要綱（地域子育て支援拠点事業）、坂井市地域子育て支援センター設置要綱			
関連計画	有	坂井市福祉保健総合計画、次世代育成支援行動計画			

【事業の概要】

地域の子育てで家庭等の育児不安に対応するため、子育てに対する多様な支援を実施し、安心して子育ての出来る環境の整備を図る。

◆子育て支援センター事業 丸岡支所  
 子育て支援事業（相談指導、講座・講演会等）の実施及び維持管理 852 千円  
 ○報償費（子育て講座等謝礼）55 千円  
 ○旅費（研修会等参加旅費）2 千円  
 ○需用費（事務用消耗品費、行事贈等）274 千円  
 ○役務費（電話料、傷害保険料）76千円  
 ○委託料（コピー機保守、害虫駆除）74千円

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	支援センターの利用が高まってきているのと同様に、母親の子育てに関する相談等その担う役割は大となってきています。また、新たに地域全体で子育て支援を応援する環境づくり目指し、地域住民による子育て応援推進事業に取り組んでいきます。
目標年度 平成23 年度	
取組状況	子育て支援センター事業を継続して実施し、新たに地域住民による子育て応援推進事業に取り組みました。
中長期的に取り組むべき改善提案	保育所や幼稚園等施設の見直しするのに併せて各支援センターの設置場所についても検討していきます。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	民生費	項	児童福祉費	目	保育園費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	69 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	250 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	59 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	55 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	433 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.35 人	2,378 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.35 人	2,378 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		2,811 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	201 千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		2,610 千円	千円	千円	千円					
財源合計		2,811 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	保育所や幼稚園等の見直しに併せて支援センターの設置場所を検討します。			
実施主体の方向性	民間への移管を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	地域により、民間の子育て支援拠点事業所への移管を含め検討します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	子育て支援拠点施設として、国の交付金の対象と成り得る事業が課せられているため、必要な財源を確保し実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	県や国への事務的な業務を担っており現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	地域により、民間の子育て支援拠点施設への移管を含め検討します。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	支援センターの利用が高まってきているのと同様に、母親の子育てに関する相談等その担う役割は大となってきています。保育所や幼稚園等施設の見直しするのに併せて支援センターの設置場所についても検討していきます。			
目標年度 平成26 年度				

【事業の成果】	指標名		単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
	成果	実施施設（丸岡町内）	箇所	目標値				
				実績値	1	1	1	1
	活動	講座・講演会回数（丸岡子育て支援センター）	回	目標値				
				実績値	53	64		
	活動	利用延人数（丸岡子育て支援センター）	人	目標値				
				実績値	6,402	9,838		
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

事務事業名	児童館管理運営事業			事業コード	03020500201		
所管部署	福祉課（丸岡支所）		電話	68-0805		記入者名	早水 雅章
事業対象	児童						
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	児童福祉の充実			事業種別	施設管理事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	有	児童福祉法、児童福祉施設最低基準					
根拠例規	有	坂井市児童館条例、坂井市児童館条例施行規則、坂井市児童館運営委員会規則					
関連計画	有	坂井市福祉保健総合計画、次世代育成支援行動計画					
事業の概要	健全かつ創造的な遊び活動を体験させ、児童の情操や健康の増進を図るとともに、子供会やサークルなどの地域組織活動の育成振興を図る。						
	事業の目的・事業の概要等	<p>◆児童館管理運営事業 丸岡支所 3,915 千円 児童館各種事業の実施及び維持管理</p> <p>○報償費（講座講師謝礼） 220 千円 ○旅費（普通旅費） 33 千円 ○需用費（事務用消耗品費、光熱水費）1,655千円 ○役務費（電話料、手数料、傷害保険料）422千円 ○委託料（樹木管理、消防設備、コピー機保守点検） ○使用料及び賃借料（車両・土地借上料等） ○負担金（県児連） 36千円</p> <p>1,161 388 千円 千円</p>					

すぐにできる改善提案	合併時に従前からの施設をそのまま継承してきていることから、各地区で施設数でもバラツキがあります。児童館の役割を再検討しながら老朽化施設の今後のあり方や、一部の児童館を地元地区へ譲渡する方向での協議を行っています。		
目標年度 平成23 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

予算	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉施設費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	334 千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	1,249 千円	千円	千円	千円				
		役務費	303 千円	千円	千円	千円				
		その他	1,375 千円	千円	千円	千円				
	事業費合計	3,261 千円	千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.65 人	4,417 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.65 人	4,417 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	7,678 千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源		7,678 千円	千円	千円	千円					
財源合計	7,678 千円	千円	千円	千円						

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	開設時間の見直しを図る必要があります。			
実施主体の方向性	地域への移管を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	今市・西瓜屋・坪江児童館の3館に関しては、地区の集会所としても利用されており、地域への移管を検討します			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	拠点児童館の設置も検討課題です。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	午前中の来館者は少なく、午後からのみで充分対応できると思われる。			
すぐにできる改善提案	午前中の閉館。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	拠点児童館のみの運営。			
目標年度 平成26 年度				

事業の成果	成果	年間利用人数	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
			目標値	人					
	実績値	29,624	---	31,900	---				
	活動	維持管理経費	目標値	千円					
			実績値	3,042	---	3,183	---		
		目標値							
		実績値							
		目標値							
		実績値							

【事業の概要】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【事業のコスト】

【所属長評価】

【事業の成果】

事務事業名	放課後児童対策事業			事業コード	03020500301		
所管部署	福祉課（丸岡支所）		電話	68-0805		記入者名	早水 雅章
事業対象	昼間保護者のいない家庭の小学生低学年児童及びその他健全育成上指導を必要とする児童を対象としています。						
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	児童福祉の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	有	放課後子どもプラン推進事業実施要項					
根拠例規	有	坂井市放課後児童健全育成事業実施要項					
関連計画	有	次世代育成支援行動計画					
事業の概要	保護者の就労等により昼間家庭にいない市内の小学校に通う子ども達に、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る。						
	事業の目的・事業の概要等	<p>◆放課後児童対策事業丸岡支所 21,764千円 放課後児童クラブの管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費（普通旅費） 65千円</li> <li>○需用費（事務用消耗品費、光熱水費） 9,954千円</li> <li>○役務費（電話料、手数料、傷害保険料） 656千円</li> <li>○委託料（放課後児童対策事業委託料） 10,386千円</li> <li>○使用料及び賃借料（車両借上料、入場料） 415千円</li> <li>○工事請負費（エアコン設置工事） 265千円</li> <li>○負担金（研修参加負担金） 23千円</li> </ul>					

すぐにできる改善提案	受け入れ施設が学校・公民館等地域によって違いがあることや、家庭の都合や就労等の理由なしに4年生以上の児童を預かることとなってきた状況や、気になる子の対応等指導員が働きやすい環境を整えていくことが必須となってきています。また、増加傾向にある利用希望児童数、広がらない空き教室等クラブスペースの確保に努め、良好なクラブ運営を図りたいと思います。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	気がかりな子ども等の情報交換、指導員と保護者、学校教員との連携を図りながらクラブ運営に努めました。また、良好なクラブ運営が望まれることから、市として引き続き所管の調整（子育て支援課から教育委員会）を行っていく必要があると思います。		
中長期的に取り組むべき改善提案	放課後児童クラブへの受入学年の拡大と入会希望児童の100%受入ができるように、学校施設等を利用した児童クラブ運営を実施していく必要があります。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	学校施設等の利用、気がかりな子ども等学校職員との連携等から、所管を教育委員会へ移動し、良好な児童クラブ運営ができるように進めていく必要があります。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉施設費				
コスト	事業費	報酬	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			10,364	千円	千円	千円	千円	千円		
			8,748	千円	千円	千円	千円	千円		
			434	千円	千円	千円	千円	千円		
			2,456	千円	千円	千円	千円	千円		
			22,002	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.80人	5,436千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.80人	5,436千円	人	千円	人	千円	人	千円
	事業費	特定財源	国県支出金	13,682千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	2,490千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源			11,266千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計		27,438千円	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	所管の調整（子育て支援課から教育委員会）を行っていく必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	所管の調整（子育て支援課から教育委員会）を行っていく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	所管の調整（子育て支援課から教育委員会）を行っていく必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	所管の調整（子育て支援課から教育委員会）を行っていく必要があります。			
すぐにできる改善提案	気がかりな児童等の情報交換、指導員と保護者、学校教員との教育委員会との連携強化に努める。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	所管の調整（子育て支援課から教育委員会）を行っていく必要があります。			
目標年度 平成25 年度				

【所属長評価】

成果	クラブ数	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
				箇所	目標値	達成率	達成率	達成率
活動	事業費	千円		実績値	12	11	11	11
				目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
					実績値	21,400	17,971	
					目標値	達成率	達成率	達成率
					実績値			
					目標値	達成率	達成率	達成率
					実績値			
					目標値	達成率	達成率	達成率
					実績値			
					目標値	達成率	達成率	達成率

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	幼保園管理事業			事業コード	10040200201		
所管部署	福祉課（丸岡支所）		電話	68-0805		記入者名	早水 雅章
事業対象	幼保園児						
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	児童福祉の充実			事業種別	施設管理事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	有	教育基本法、学校教育法、幼稚園設置基準					
根拠例規	有	坂井市立幼稚園の管理規則					
関連計画	有	坂井市教育振興基本計画					
事業の概要	3歳時から就学までの乳幼児を、保育・教育する就学前の総合的な保育施設として、保育園と幼稚園を一体化した施設で受け入れ、保護者のニーズに適した環境づくりを行うことで児童福祉の向上を図る。						
	事業の目的・事業の概要等	<p>◆幼保園管理事業 丸岡 4,251千円 各幼保園の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費（普通旅費） 20千円</li> <li>○需用費（事務用消耗品費、光熱水費） 2,387千円</li> <li>○役務費（電話料、口座振替手数料、火災保険料等） 723千円</li> <li>○委託料（害虫駆除、消防設備保守点検等） 472千円</li> <li>○使用料及び賃借料（車両借上料、土地借上料等） 620千円</li> <li>○原材料費（砂場用砂代） 21千円</li> <li>○負担金（坂井地区保育部会負担金） 8千円</li> </ul>					

すぐにできる改善提案	幼稚園児が支障なく学習し、教諭等においては十分な指導ができる良好な環境を維持するために継続して行う必要があります。しかし、時代の要請の中で、改革・改善などを行いながら更なる充実に向けて事業を展開する必要があります。課題は幼保一元化に向け、市民の意見を聞きながら調整を行う必要があります。		
目標年度 平成24 年度			
取組状況	幼保一元化について、国の明確な方針が示されない状況が続きました。この状況の中で、改革・改善を行う必要があると考えます。坂井市として一元化に向けての施設等の枠組みは概ね設定できたものの、現実的な取り組みに向けて検討を行う必要があります。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市としての、幼保一元化に向けた施設的な枠組みは概ねできたものと考えます。国の法案成立と平行しながら具体的な検討を地域等を交え行う必要があります。また、この施設の枠組に併せた施設の改修等により幼児が支障なく学習し、教諭等においては十分な指導ができる良好な施設の維持管理を行いたいと考えます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	国の法案成立と平行しながら具体的な検討を地域等を交え行う必要があると考えます。また、坂井市として目指すべき幼児教育の方向性も時間と協議を重ね具体化する必要があると考えます。また、この施設の枠組に併せた施設の改修等により幼児が支障なく学習し、教諭等においては十分な指導ができる良好な施設の維持管理を行います。		

【前年度改善案に対する取組状況】

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A

【担当者評価】

予算	款	教育費		項	幼稚園費		目	幼保園総務費		
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	427千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	1,311千円	千円	千円	千円				
		役務費	551千円	千円	千円	千円				
		その他	570千円	千円	千円	千円				
	事業費合計	2,859千円	千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.65人	4,417千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.65人	4,417千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	7,276千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源		7,276千円	千円	千円	千円					
財源合計	7,276千円	千円	千円	千円						

事業の方向性	改善して継続します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	少子・人口減少社会の到来、生活様式や価値観の多様化等、幼児を取り巻く環境の変化に対応した幼児教育体制を検討します。				
実施主体の方向性	民間への移管を検討します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	少子化や共働き家庭の増加等により、幼稚園児の減少が続いています。幼児教育を一層向上させるため、国の動向を見極めながら、幼保園の統合及び民営化を検討します。				
コスト投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	統合による事業費の縮小を検討します。				
人員投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	統合による人件費の縮小を検討します。				
すぐにできる改善提案					
目標年度	--	年度			
中長期的に取り組むべき改善提案					
目標年度	--	年度			

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
	公立幼保園の施設数	箇所	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
成果	公立幼保園に入所した児童数	人	実績値	4	4	4	4
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
活動	幼稚園教諭数	人	実績値	177	192		
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値	24			
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	幼保園教育振興事業			事業コード	10040200401
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	早水 雅章
事業対象	幼保園児				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	児童福祉の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	学校教育法			
根拠例規	有	坂井市立幼稚園設置条例、坂井市立幼稚園の管理規則			
関連計画	無				
事業の目的・事業の概要等	幼児に対して就学前教育を行うことを目的とし、集団生活の中で基本的な生活習慣や態度、豊かな心、意欲や思いやりなどを養う幼児教育を行う。				
	◆丸岡幼保園教育振興事業1,310千円 教材用消耗品、卒園記念 ○消耗品費（教材用消耗品、卒園記念品）1,295千円 ○印刷製本費（卒園賞状印刷代）15千円				

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	幼保一元化及び保育所の民営化などを進め幼児教育の充実に努めます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	幼保一元化プロジェクトチームによる検討を進めていく。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	幼稚園費	目	幼保園総務費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.02 人	136 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.02 人	136 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		136 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		136 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		136 千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	少子・人口減少社会の到来、生活様式や価値観の多様化等、幼児を取り巻く環境の変化に対応した幼児教育体制を検討します。			
実施主体の方向性	民間への移管を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	少子化や共働き家庭の増加等により、幼稚園児の減少化が続いています。幼児教育を一層向上させるため、国の動向を見極めながら、幼保園の統合及び民営化を検討します。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	統合による事業費の縮小を検討します。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	統合による人件費の縮小を検討します。			
すぐにできる改善提案		目標年度	--	年度
中長期的に取り組むべき改善提案		目標年度	--	年度

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	幼保園教諭配置数	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値	24	---		
活動	子どもの伸びる力育成支援事業	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値	600	---		
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値		達成率	達成率	達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値		達成率	達成率	達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値		達成率	達成率	達成率

【事業の成果】

事務事業名	幼保園園児健康管理事業			事業コード	10040200501
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	早水 雅章
事業対象	幼保園児				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	児童福祉の充実		事業種別	内部管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	健康診断の諸検査業務
根拠法令	有	学校保健安全法			
根拠例規	無				
関連計画	無				
事業の目的・事業の概要等	幼保園児の健康診査を実施し、健康の保持増進を図ることを目的とする。				
	<p>◆丸岡幼保園園児健康管理事業306千円 園医による健康診断、検査機関による諸検査</p> <p>○報償費（園医手当）194 千円 ○委託料（検査委託料）59 千円 ○負担金（日本スポーツセンター負担金）53千円</p>				

【事業の概要】

すぐに行える改善提案	健康診断内容や校医手当の見直しについては坂井地区医師会などとの協議が必要となるため、各機関と連携して改善のための協議を進めます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	これまで眼科と耳鼻科の専門医が行ってきた健診領域を平成24年度からは学校医が総合的に健診を行う内容に変更するための協議を行った。	
中長期的に取り組むべき改善提案		
目標年度 未設定 年度		
取組状況		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	幼稚園費	目	幼稚園総務費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	56 千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	千円	千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	200 千円	千円	千円	千円				
		事業費合計	256 千円	千円	千円	千円				
	人件費	正職員	0.06 人	408 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.06 人	408 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	664 千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
その他		39 千円	千円	千円	千円					
一般財源		625 千円	千円	千円	千円					
財源合計		664 千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	耳鼻科医および眼科医による専門医健康診断を廃止し、毎年実施している学校医による健康診断の中で、全学年の眼・耳・鼻の検査を実施します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	学校保健安全法により、学校には学校医および学校歯科医を配置することになっており、坂井地区医師会の人選により、市教委が任命します。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	耳鼻科医および眼科医による専門医健康診断を廃止することにより、校医手当の削減を図ります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	学校医への定期健康診断の依頼や健診日における補助などで人員が必要であり、現状を維持します。			
すぐに行える改善提案	坂井地区医師会および校長会、養護教諭部会等と協議を行い、健康診断内容の見直しを行います。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

成果	受診率（内科）	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	
		目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
活動	健康診断の実施園数	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
		実績値	4	---	4	---			
		目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
		実績値							
		目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
		実績値							
		目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
		実績値							

【事業の成果】

事務事業名	丸岡学校給食管理事業			事業コード	10060400204
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	早水 雅章
事業対象	幼保園児				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	児童福祉の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	学校給食法、学校給食衛生管理基準			
根拠例規	有	坂井市立学校給食センター条例、坂井市立学校給食センター条例施行規則			
関連計画	有	坂井市教育振興基本計画、坂井市食育推進計画			
事業の概要	<p>成長期にある園児の心身の健全な発達のため、「園児が生涯を通して健康な生活を送る基礎を養う安全で美味しく栄養バランスのとれた給食を提供する」ことにより、健康の増進、体位の向上を図ることは勿論のこと、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付けられることを目指す。</p>				
	<p>◆丸岡幼保園給食管理事業4,896千円 ○賄材料費（給食材料費）4,896千円</p>				
事業の目的・事業の概要等					

すぐにできる改善提案	現在丸岡地区内4併設幼保園の給食は安田、今福、ハヶ幼保園で作り配運していますが、施設・設備共に老朽化が著しいため、施設及び調理機器等の修繕を行う必要があります。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況		
中長期的に取り組むべき改善提案		
目標年度 未設定 年度		
取組状況		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	学校給食費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	4,745千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	4,745千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.05人	340千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.05人	340千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		5,085千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		5,085千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		5,085千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	丸岡地区の給食は、「自校調理場方式」により供給していますが、施設の老朽化が進んだ時点で、将来的に「共同調理場方式」へ移行する予定です。			
実施主体の方向性	民間への移管を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	当分の間は、市直営で実施しますが、共同調理場方式へ移行する時点で、民間委託での運営を含めて検討します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	当分の間、施設を修繕しながら維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	当分の間、現状を維持します。			
すぐにできる改善提案				
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	調理方式の見直しおよび運営方法の検討を行います。			
目標年度 -- 年度				

事業の成果	成果	地場産食材使用率	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
			目標値	%					
	実績値		44.3	---					
	活動	給食実施食数	指標名	食	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
			目標値						
		実績値		6,485	---				
		目標値							
		実績値							
		目標値							
		実績値							
		目標値							
		実績値							